

第1部

13:30~14:30

**[レクチャー]
産業用ロボット
概論**

講師:高丸 正 氏
講師:高丸工業㈱社長

ロボットを活用したモノづくり革新

- [1] 国内製造業を取り巻く環境 ~ロボットの活用が必要とされる背景~
 - 1. 人に関する問題、生産性の問題
 - 2. ロボット産業の現状
- [2] 産業用ロボットを導入するメリット
 - 1. 産業用ロボットの種類といろいろな使われ方
 - 2. 導入によって得られる効果
 - ① 自動化・省力化によるコスト低減
 - ② 厳しい作業環境からの解放
 - ③ 熟練の技能をデータ化して残す
- [3] 中小企業にこそロボット導入が必要 ~ロボットが導くモノづくり革新~
 - 1. ロボット導入を阻む壁
 - 2. ロボットで多品種小ロット生産の効率化を図る
 - 3. 自社の特性に適したロボット活用法を考える

第2部

14:45~15:45

**[見学]
実機デモ**

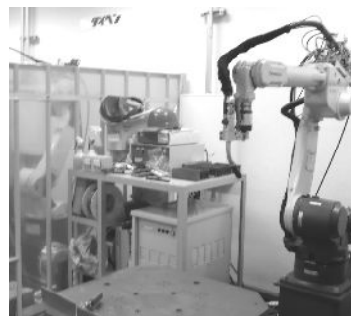
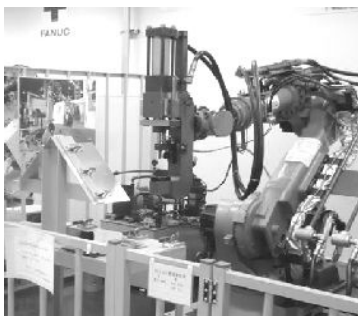
案内:吉本 領 氏
案内:同センター所長

ロボットで何ができるか? 実機デモンストレーション

尼崎ロボットテクニカルセンターの見学

メーカーの枠を越えて1か所で比較検討でき、最適な機種が選定できる場をつくる。というコンセプトのもとに開設。(2007年1月にオープン)
経済産業省の「新連携」事業に採択され、国の補助金等の支援を受けて運営されています。中立的な立場から中小企業のロボット導入・活用を促すことが目的です。

「新連携」とは、異分野の中小企業がそれぞれの経営資源を有効に組み合わせることによって、新しい事業を開拓するもので、産学連携に次ぐ「産産連携」のモデルとして経済産業省が奨励しています。



国内メーカー7社の最新鋭の産業用ロボットが集められており、操作を試したり、ワークの適応トライアルが行えます。今回の見学では、センター専任のオペレータが、製造現場での加工や搬送を再現し、ロボットの機能や特性を説明します。メーカーごとに異なる仕様や取扱方法を見比べて下さい。

溶接ロボット4台、ハンドリングロボット3台が常時稼働可能な体制で設置されています。導入計画から周辺機器を含めたシステム設計、設置、稼働、メンテナンス、オペレータ教育までロボットの活用をトータルで支援できるコンサルティング機能を有しています。

第3部

16:00~17:00

**[レクチャー]
導入・活用の
ポイント**

講師:高丸 正 氏

ロボットを使いこなそう

- [1] 産業用ロボット導入のための検討項目と実行手順
 - 1. 導入目的の明確化
 - 2. 導入する、しない、の判断
 - 3. 失敗しない機種選定のポイント
 - 4. オペレータの教育・育成
- [2] 投資効果を最大化させるために
 - 1. 生産技術のブラッシュアップ
 - 2. メンテナンス
- [3] まとめ・質疑応答

ロボットを入れるのか、人手で行くのか
周辺機器も含めたトータルの最適化を目指す

レクチャーは尼崎ロボットテクニカルセンターのコア企業である高丸工業㈱社長の高丸正氏が担当します。高丸工業㈱…本社尼崎市、ロボット周辺機器の製造・開発メーカーで、「新連携」事業として尼崎ロボットテクニカルセンターを設立、ユーザーの視点でロボット導入のトータル提案も行っている。

見学付きセミナー

さらなる競争激化と労働人口減少の時代
ロボットは製造業生き残りの切り札です

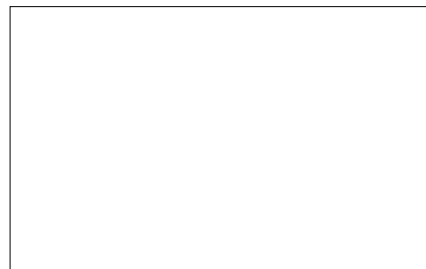


産業用ロボット 選び方と有効活用法

中小企業に最適なロボットを導入するためのポイント

産業用ロボットは組立・溶接・搬送など様々な形で製造現場に導入され、工程の合理化や省力化に貢献しています。これからの労働力人口の減少やさらに激化する国際競争への備えとしてロボットの活用は、製造業生き残りの一つの切り札だと言えるでしょう。そこで今回は、産業用ロボットを上手に導入・活用するためのポイントをわかりやすく解説いたします。また、国内メーカー7社の最新機種の実演を見学することで、実際の動きや特性を見比べていただけます。

- **開催日時** 2009年1月28日(水) 午後1時30分～午後5時
- **会場** ARIC エーリック(尼崎リサーチインキュベーションセンター) 3階研修室①
兵庫県尼崎市道意町7-1-3 電話 06-6415-2500
- **受講費** 1名につき 会員企業の方 **14,700 円**
※いずれも消費税込み 会員以外の方 **18,900 円**
振り込み先 ・三井住友銀行 備後町支店 当座 No.201068
・三菱東京UFJ銀行 信濃橋支店 当座 No.321966
・りそな銀行 大阪営業部 当座 No.1027054



阪神電車「センタープール前」駅
または、「出屋敷」駅徒歩約8分

申し込み方法 下欄の受講申込書をFAXで当協会宛にお送りください。
折り返し、受講票・請求書および振込用紙をお送りいたします。

お申し込み、お問い合わせはこちらへ……

《主催》 社団法人 大阪府工業協会 <http://www.opmia.or.jp>

〒541-0054 大阪市中央区南本町4丁目3-6 大阪府商工会館5階 TEL 06-6251-1138

受講申込書 | 産業用ロボット 選び方と有効活用法 2009.1.28

会社名			受 講 者	所属部署・役職名	氏 名
所在地	〒 _____				
電話番号	F A X			主要製品	
◎受講費 ()名分 合計 _____ 円 月 日 銀行より振込予定				◎申込担当者(受講票・請求書のお送り先) 所 属 (部署・役職名) 氏 名	

お申し込みは ⇒ (社) 大阪府工業協会 事業部 FAX 06-6245-9926

※申込書にご記入いただいた内容は、事務処理(受講票・請求書の発行等)・担当講師への受講者名簿提示のほか、研修案内の送付に利用させていただく場合がございます。なお、内容の訂正・利用停止をご希望の場合、当協会までご連絡ください。

No.0859-4213 KT